

今年度も残りわずかとなりました

日に日に、春を感じる今日この頃となりました。ひなたぼっこをしていると、春の陽気を体全体で感じることができます。

春の訪れはうれしいものですが、今年度も残りわずかとなってしまいました。6年生は、残り6日です。1～5年生は残り7日です。

6年生は、3月10日（木）に、第21回狂言発表会を行いました。そして、3月11日（金）から、卒業式の練習を開始しました。

どの学年の児童も、今年度の締めくくりや新年度の準備に力を入れているところです。

今月の生活目標は、『お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えよう』です。


3月7日の朝会では、感謝の気持ちをどのように伝えるとよいかを、子どもたち一人一人に考えてもらおうと、呼びかけました。そして、宮澤章二さんの『行為の意味』を紹介しながら、それぞれの心や思いは見えないけれども、心づかいや行為は見えることを伝えました。

平荘っ子一人一人の心が見える化できるといいなと思います。

生活目標

三月

お世話になった人たちに
世話
 感謝の気持ちを伝えよう
かんしゃ
きもち
つた
ひと



『行為の意味』

宮澤 章二

あなたの（こころ）はどんな形ですか
 とひとに聞かれても答えようがない
 自分にも他人にも（こころ）は見えない
 けれど ほんとうに見えないのであろうか
 確かに（こころ）はだれにも見えない
 けれど（こころづかい）は見えるのだ
 それは 人に対する積極的な行為だから
 同じように胸の中の（思い）は見えない
 けれど（思いやり）はだれにでも見える
 それも人に対する積極的な行為なのだから
 あたたかい心が あたたかい行為になり
 やさしい思いが やさしい行為になるとき
 （心）も（思い）も 初めて美しく生きている
 それは 人が人として生きることだ

※宮澤 章二『行為の意味』参照



地域の皆様、いつも温かく見守っていただき、どうもありがとうございます。



第3回学校運営協議会を開催しました

3月7日（月）に、第3回学校運営協議会を開催しました。この度の主な議題は、学校評価です。児童、保護者、教職員による学校評価をもとに、関係者評価をいただきました。

令和3年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名 加古川市立平荘小学校

1 教育目標	自ら学び続ける心豊かな平荘っ子の育成 一人間尊重の教育を基盤にすえてー
2 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○よく考える子 力を合わせる かしい 平荘っ子 ○思いやりのある子 力を合わせる やさしい 平荘っ子 ○たくましい子 力を合わせる 明るく、元気な平荘っ子
3 指導目標	1. 基礎基本をしっかりと身につけさせます 2. 自分の生き方、在り方を考えることができるようになります 3. 健康な体をつくります 4. 教師は、豊かな人間性と指導力の向上を目指して業務改善及び自己研鑽に努めます 5. 家庭や地域との連携を図り、開かれた学校にします

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考える力の育成に努める。 ・伝え合う力の育成を図る。 ・基礎的・基本的な力の定着を図る。 ・協同的探究学習を核に、「わかる学力」の育成を図る。 	B	ICT機器(タブレット等)を活用しながら思考を深める授業研究を行う。聞く力の育成に努め、伝え合う力の伸長に努める。継続して協同的探究学習を推進する。	目標を意識した日々の教育が実践されている。「聞く力」の基礎は、人に対するリスペクトだと思う。普段の生活にもつなげてほしい。相手の話をしっかり聞き、自分の意見を発表する「ことばの力」を育成することが必要。評価は適切である。	B
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実を図る。 ・人権を大切に教育を充実させる。 ・自主的・実践的な力の育成を図る。 	B	児童の生活と関連づけながら道徳教育の充実を図る。さん付け運動や挨拶運動に力を入れる。児童会活動を中心に、児童の自主的・実践的な活動の推進を行う。	自己評価は低い。保護者や児童は高評価なのでAが適切だと考える。地域での様子を見てみると、子どもたちは挨拶ができていて、適切な実践であると思う。今後も継続してほしい。	A
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な体力づくりの推進を図る。 ・安全指導の推進を図る。 ・健康を増進する指導に努める。 	A	継続的に縄跳び運動を行い体力作りの推進を図る。リスクマネジメントを意識しながら、計画的に避難訓練を実施し、日頃から安全教育や防災教育の推進に努める。	生活指導や安全指導とも、継続した取り組みがなされている。評価は適切である。体力づくりと食育のおかげで児童は心身ともに健やかに成長している。継続してほしい。子どもとともに活動する先生方の姿がよい。	A
教職員としての使命の自覚と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じた指導力の向上に努める。 ・個に応じたきめ細やかな指導に努める。 ・児童の内面に寄り添う生徒指導に努める。 ・人権感覚を磨き、コンプライアンスの推進に努める。 	B	研究推進や若手研修を計画的に行い、OJTを活用しながら、指導力の向上を図る。校内授業研究の充実を図る。報告・連絡・相談の徹底を行いチームとして対応する。	職員が一丸となって児童に向き合いきめ細かく指導している。1時間1時間が力を高める場であるので、失敗やピンチこそチャンスと捉え、指導力向上に努めてほしい。OJTを活用し研修を計画的に進めてほしい。評価は適切である。	B
地域総がかりの教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信の充実を図る。 ・「地域とともにある学校づくり」の推進を図る。 ・地域や外部指導者の協力による学習の推進を図る。 	A	学校としての情報発信を積極的に行い、学校・家庭・地域が連携して児童の育成に関わる。地域やユニットとの情報交換を積極的に行い、協力体制の構築に努める。	よくできている。コロナ禍の中、可能な活動を工夫し実践している。学校だよりやHPを通じて情報発信も効果的で、地域とのふれあいなど、協働連携も十分できている。定期的な学校だよりの発行で児童の様子や育ちがよくわかる。評価は適切である。	A



相手の話をしっかり聞く姿勢を身に付けさせてほしいです。基礎的な学力の向上を目指してほしいです。

登校途中、地域の方に出会っても丁寧にあいさつができています。

『いなほ』などによる情報発信も効果的で、また、地域の方とのふれあいなど、協働・連携も十分できている。今後も引き続き地域学習を進めてほしい。

道徳性を身に付けるには、学校だけでなく家庭や地域も同じ目的をもって子どもたちに関わっていくことが大切ですよね。

コロナ禍で、地域住民とのふれあいが困難な中、学校だよりで情報発信に努力されている。

コロナ禍、タブレットの活用は有効だと思います。

「伝え合う力の育成」の評価が低い。相手の話をしっかり聞き、自分の意見を表現する「ことばの力」を育成することが大切だと思われる。

学習や人間関係をつくる上で、聞く(聴く)力は基本だと思います。先生方がこの力を伸ばそうと努力してくださっているのがよくわかります。

安全・安心が確保しづらい中で、健康な体づくりが継続してできていることはすばらしいと思います。

先生方の前向きな努力に感謝いたします。

子どもたちの心を動かす情熱と愛情をもって指導にあたってほしい。

定期的な学校だよりの発行で児童の様子がよくわかります。これからも地域としてできることは協力していきたいです。